

# 桃太郎のまち岡山コンポスト＝ハンドブック＝

## Step 2

ダンボール箱を組み立てます。  
底はガムテープで止め、穴や隙間をふさぎます。  
中底敷き用にダンボールや新聞紙を用意して、敷いてください。(285mm×320mm)



### ここが Point!!

- 紙テープより耐久性のある布テープを使用すると長持ちします。
- 底の部分だけでなく、側面のつなぎ目も塞ぎましょう。害虫の侵入を防げます。



## Step 3

コンポストの基（基材）を箱に投入してください。  
(基材の全量です。)

入れたばかりの状態は乾いているので、500ml～1L程度の水を加えて水分調整をしてください。



(ダンボールコンポストキット)

### ここが Point!!

- “握ると団子になるが、すぐに崩れる固さ”が適度な水分状態です。混ぜ合わせながら、ペットボトルなどで少しずつ水を加えると上手くできます。
- 水を入れすぎないように注意してください。
- 冬場など気温が低いときは、室内におくことで、発酵を促進させることができます。(冬場などの水分追加は40度くらいのお湯だと発酵促進します。)

## Step 4

軒下やベランダなど雨の当たりにくい場所に設置します。  
風通しの良い台や木片の上にダンボールを置いてください。  
(通気性をよくすることで、基材の活性化が図れます。)

### ここが Point!!

- ダンボール箱の上に、布などの通気性のよい素材のカバーをかけてフタをすることで、害虫の侵入が防げます。
- カバーは使い古しのTシャツを利用することができます。
- ビールケースや育苗台を使うとお手軽です。



## Step 5

いよいよ生ごみを投入します。  
生ごみを投入したら、よく基材と混ぜ合わせてください。  
1日に投入できる量は、およそ三角コーナー1杯分(約500～800g)を目安としてください。



### ここが Point!!

- 生ごみはできるだけ新しいうちに投入しましょう。(小バエ(害虫)の発生が防げます)
- 生ごみはできるだけ小さくカットしましょう。
- 生肉、生魚は一度火を通しましょう。(腐敗、臭い防止のため)

(裏面Q&Aを参考にしてください。)



## Step 6

途中、白カビが生えたら順調です。  
約40日投入したら投入をやめてください。  
投入終了後、1ヵ月程度熟成させてください。  
※熟成中の方にも新しいコンポストは配布しています。



### ここが Point!!

- 熟成中も空気に触れさせるため、攪拌と水分調節を行ってください。



熟成できたら完成です!

## Step 7

1ヵ月程度熟成させたコンポストをタイムに持ち込んでください。(土・日のみ)  
持ち込み時に、お買物割引券と交換しています。



### ここが Point!!

- 持ち込む時は、中の基材がこぼれないよう、必ずダンボールコンポストごとナイロン袋等に入れてください。